令和７年度（2025）

年間授業計画

第１学年

東京都立両国高等学校附属中学校

令和7年度年間授業計画　国語（A／B）

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

② 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。

③言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週４時間　(2)年間総授業数　140時間　(3)授業形態　一斉・TT（講義・演習）

３．教科書・副教材

教科書	国語１（光村図書）　中学書写（教育出版）
副教材	新国語の便覧（正進社）、すらすら基本文法（浜島書店）、級別漢字レッスン（浜島書店）、標準新演習国語中１（エデュケーショナルネットワーク）

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6	【現代文分野】 対話で自己紹介をしよう 朝のリレー シンシュン ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 詩の世界 身近な人にお願いしよう わかりやすく書こう 文の組み立て 自立語①	・文学的文章の読解 ・説明的文章の読解 ・詩の鑑賞 ・スピーチ ・文学的文章の読解 ・韻文音読、朗読 ・情報整理 ・文の組み立て ・活用のない自立語	46	〔通年〕 ・小倉百人一首 ・漢字 ・語句 ・読解演習 ・口語文法
	7	【古典分野】 竹取物語			
		【書写分野】 書写（硬筆）		6	
2	9 10 11 12	【現代文分野】 星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに… 「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ 今に生きる言葉 話題や方向を捉えて話し合おう 課題を解決するために話し合おう 自立語②	・文学的文章の読解 ・説明的文章の読解 ・古典文学の読解 ・漢文訓読 ・ディスカッション ・プレゼンテーション ・活用のない自立語、活用のある自立語	51	
		【古典分野】 蓬莱の玉の枝(「竹取物語」)			
		【書写分野】 書写（毛筆）		7	
3	1 2 3	【現代文分野】 「不便」の価値を見つめ直す 少年の日の思い出 根拠を明確にして伝えよう 付属語	活用のない付属語	23	
		【古典分野】			
		【書写分野】		7	

５．評価について

それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。

知識・技能　…定期考査、漢字、文法、語彙、書写、百人一首等

思考・判断・表現　…定期考査、スピーチ、発表、ノート、作文、レポート等

主体的に学習に取り組む態度　…日ごろの授業への取り組み、提出物、小テスト等

令和７年度年間授業計画　社会

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①世界や日本の姿をとらえ、身近な地域や都道府県、世界の国々を調べる力を養う。
②中国大陸などの影響を受けながら、日本の古代・中世の社会が形成されていった過程を考察する。
③資料の収集や活用のしかた・新聞やインターネットの活用法、プレゼンテーションの方法などを学ぶ。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週３時間　(2)年間総授業数　１０５時間　(3)授業形態　１クラス４０人授業

３．教科書・副教材

教科書	「新しい社会地理」東京書籍　「中学校社会科地図」帝国書院　「中学歴史　日本と世界　改訂版」山川出版社
副教材	「アドバンス中学地理資料」帝国書院　「学び考える歴史（東京都版）」浜島書店 「地理の学習」浜島書店　「中学歴史　日本と世界ノート　改訂版」山川出版社

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考（育みたい力）
1	4 5 6	【地理分野】 世界と日本の姿 世界のさまざまな地域	・私たちがくらす地球をとらえる　・世界の国を知る　・緯度・経度のしくみを知る ・地球儀や地図を活用する　・暑い地域に生きる人々　・寒い地域に生きる人々　・高地に生きる人々　・海に生きる人々　・乾燥地域に生きる人々　・宗教とともに生きる人々 ・大都市に生きる人々　・経済発展の中に生きる人々　・日本の姿を知ろう　・日本の地図を活用しよう	39	・地球儀や地図の活用の仕方 ・統計資料から必要な情報を読み取る力 ・２地点間の時差を求める ・歴史史料や公的資料から必要な情報を得る力 ・歴史資料を活用する力
	7	【歴史分野】 世界の諸文明 日本文化のあけぼの	・人類の誕生と進化　・古代文明の始まり ・地中海文明の発展　・中国文明と東アジア ・宗教の起こり　・縄文文化の誕生　・稲作の広まりと弥生文化　・古墳と大和政権		
2	9	【地理分野】 世界の様々な地域	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州	45	・地図や統計、グラフなどから地理的事象の特徴を読み取る力 ・地域の歴史の調べ方
	10 11 12	【歴史分野】 律令国家の形成 貴族政治と国風文化	・聖徳太子の政治改革と飛鳥の文化　・律令国家への道　・律令国家の仕組みと人々の暮らし　・平城京と天平文化　・平安京と弘仁・貞観文化　・摂関政治と地方社会　・東アジアと国風文化　・荘園の成立と武士の登場　・院政と武士の成長　・日本の地域の歴史や文化について調べてみよう		
3		【地理分野】 世界の諸地域	・北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	21	・地図や統計、グラフなどから地理的事象の特徴を読み取る力 ・自分の考えをまとめ、相手にわかりやすく伝える力
	1 2 3	【歴史分野】 中世世界の成立 武家社会の成長	・鎌倉幕府の成立と執権政治　・武士の日常・民衆の生活　・鎌倉時代の文化　・モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望　・南北朝の動乱と室町幕府の成立　・東アジアと日本の関係　・産業・流通の発達と都市・農村の変化　・応仁の乱と戦国大名　・室町時代の文化　・日本や世界各地の様々な問題を考えよう		
				105	

５．評価について

それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。

・知識・技能…定期考査、小テスト、課題等

・思考・判断・表現…定期考査、発表、ノート、課題等

・主体的に学習に取り組む態度…日ごろの授業への取り組み、提出物、ノート等

令和７年度年間授業計画　人と社会

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①人間そのもの、社会全般についての理解を深め、自己やそれを取り巻く現代社会に対する興味・関心を高める。
②資料の収集や活用のしかた・新聞やインターネットの活用法、プレゼンテーションの方法などを学び、活用できる能力を身に付けさせる。
③日本や世界で起こっているさまざまな事象について理解し分析するとともに、そこに生きる人間としての生き方あり方について自ら考え追究することができる。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週１時間　　(2)年間総授業数　３５　時間　　(3)授業形態　一斉・討論・作業・発表など

３．教科書・副教材

教科書	教科書は使用しない。自作のワークプリントや新聞等を使用。
副教材	

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	1　人間とは何か 2　自己を知る 3　青年期の特徴 4　社会のしくみ	人間ならではの価値について 自己を客観視し分析する 　内向型と外向型・６つの性格類型 　９つの性格（エニアグラムテスト） 第二の誕生・マージナルマン・発達課題 社会とは 国家の三要素 日本国憲法の三大原則 　・主権とは 　・人権とは 　・平和主義とは どのような課題があるか 現代文明が抱えている問題点とその解決法について考える ・価値観の問題 ・生命倫理の問題 ・環境倫理の問題など	13	新聞を利用してのニュース発表を毎時間実施する。
2	9 10 11 12	5　日本社会の諸課題 6　国際社会の諸問題		17	新聞を利用してのニュース発表を毎時間実施する。
3	1 2 3	7　学問について	哲学（philosophia）の誕生 ・自然哲学者 ・近代科学の先駆者 ・経験主義と合理主義 「学ぶことの意義」について考える	5	新聞を利用してのニュース発表を毎時間実施する。

５．評価について

・学習したこと、調べたことを適切な用語を使って討論し、まとめたりして表現している。
・課題やレポートの提出，授業の取組の姿勢など総合的に加味して評価材料とする。

令和7年度年間授業計画　数学

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①数を正の数から負の数まで広げ，数の概念について理解を深める。
②文字を用いることの意義，方程式・不等式の意味を理解するとともに，数量などの関係や法則を一般的かつ簡潔に表現・処理できるようにする。
③平面図形や空間図形についての観察等を通して，図形に対する直感的な見方や考え方を深め，論理的に考察する基礎を培う。
④具体的な事象を調べることを通して，比例，反比例の見方や考え方を深め，数量の関係を表現し考察する基礎を培う。
⑤目的に応じて資料を収集、整理し、代表値やちらばりに着目して、資料の傾向を読み取ることができるようにする。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1) 週４時間　(2) 年間総授業数　１４０時間　(3) 授業形態　1学級2分割習熟度別授業(TTの場合あり)

３．教科書・副教材

教科書	中学校数学１（学校図書）
副教材	体系数学１ 代数編・幾何編(数研出版), 体系問題集数学1発展　完成ノート（数研出版）

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考（育みたい力）
1	4 5 6 7	【代数分野】 正の数と負の数 式の計算 方程式	1　正の数と負の数 2　加法と減法 3　乗法と除法 4　四則の混じった計算 1　文字式 2　多項式の計算 3　単項式の乗法と除法 4　式の値 5　文字式の利用 1　方程式とその解 2　１次方程式の解き方 3　１次方程式の利用 4　連立方程式 5　連立方程式の利用	50	＊予習は教科書または体系数学１の例と例題を読んで練習をやってみる ＊復習はプリントと体系数学1問題集完成ノートを活用する ＊毎授業、定着確認の小テストを行う 5月　中間考査（完成ノート点検） 授業ノート点検第１回 数学ファイル点検第１回 7月　期末考査（完成ノート点検）
		【幾何分野】			
2	9 10 11 12	【代数分野】 不等式 1次関数	1　不等式の性質 2　不等式の解き方 3　不等式の利用 4　連立不等式 1　変化と関数 2　比例とそのグラフ 3　反比例とそのグラフ 4　比例・反比例の利用 5　1次関数とそのグラフ 6　1次関数と方程式 7　1次関数の利用	50	9月　数学コンテスト 10月　中間考査（完成ノート点検） 授業ノート点検第２回 数学ファイル点検第２回 12月　期末考査（完成ノート点検） 3月　学年末考査（完成ノート点検） 授業ノート点検第３回 数学ファイル点検第３回
		【幾何分野】			

3	1 2 3	【代数分野】 資料の整理と活用	1　資料の整理 2　代表値とちらばり 3　累積度数と累積相対度数	40	
		【幾何分野】 平面図形 空間図形	1　平面図形の基礎 2　対称な図形 3　図形の移動 4　作図 5　面積と長さ 1　いろいろな立体 2　空間における平面と直線 3　立体のいろいろな見方 4　立体の表面積と体積		

5．評価について

３つの観点「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」を３段階で評価する。「主体的に学習に取り組む態度」は、授業への取り組みの様子、宿題や課題などの状況で評価する。他の観点は定期考査、数学コンテスト、小テストなどの成績を中心に評価する。３つの観点の評価を総合して５段階の評定を出す。

令和7年度年間授業計画　理科①（地学・物理分野）

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

① 地表や地殻・上部マントルにおける現象を身近に感じながら科学的に理解できること。
② 地震や気象の観測、火山や岩石鉱物および地形や地質の観察に必要な技量と科学的な態度を身につけること。
③ 時間スケールと空間スケールの大きな自然現象を理解することができること。
④ 自然現象がもたらす恵みと災害を科学的に理解して、自分の生活と防災・減災について考えることができること。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週１時間　(2)年間総授業数３５時間　(3)授業形態　地学教室での一斉授業

３．教科書・副教材

教科書	未来へひろがる サイエンス１（啓林館）
副教材	新課程フォトサイエンス地学図録（数研出版）

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考（育みたい力）
1	4 5 6 7	【地学分野】 活きている地球 火をふく大地 火山の噴火 マグマの性質と火山 マグマからできた岩石	○火山の噴火と火山の形 ☆ムニュムニュ実験 ○火山噴出物 造岩鉱物　☆火山灰の洗い出しと観察 ※二酸化ケイ素 ○深成岩と火山岩 岩石組織 ○火成岩の観察と※分類 ※偏光　☆火成岩の観察（スケッチ）	13	観察・実験、演示実験等により、実物に多く触れて実感を伴う理解を促す。 地震波の生データをもとにパソコン実習を行い、探究に必要な情報リテラシーも身につけさせる。 細かい知識よりしっかりとした概念の形成を目指す。
		【物理分野】			
2	9 10 11 12	【地学分野】 ゆれる大地 地震の発生とゆれの伝わり方 ゆれの大きさ 日本列島の地震 身近な大地 身近な大地の変化 地域の大地の観察	○地震計の記録と地震動 Ｐ波とＳ波 震度とマグニチュード 震源の決定 断層と力 ☆地震波の読み取り（パソコン） ○プレートテクトニクス ※大陸移動説 ※関東地方のテクトニクス ○風化・浸食・運搬・堆積 流水の作用 河川と沿岸堆積物 ☆箱庭水路実験	15	
		【物理分野】 光・音・力による現象 光による現象　音による現象 力による現象	○光や音の進み方　○振動 ○力と圧力		
3	1 2 3	【地学分野】 語る大地 地層のでき方と広がり 地層の岩石 地層・化石と大地の歴史 大地の恵みと災害	○堆積岩　☆堆積岩の観察 ○地質構造 ※地層の対比 ☆ボーリング資料の観察 ○示準化石と示相化石 ☆化石の観察（スケッチ） ○地球の歴史	7	
		【物理分野】			

５．評価について

定期考査結果、授業（発言、実習・観察、発表）中の態度、実習プリントやレポート課題の成果、ノートやプリント等の記入状況などにより随時評価し、それらを総合的に評価する。

令和7年度年間授業計画　理科②（生物・化学分野）

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①自然科学に対する興味・関心を高め、観察・実験の基本的操作を身につける。
②身近な生物の観察を行い、共通点や相違点があることを見いだして、生物の体の基本的つくりを理解する。その特徴に基づいて生物が分類できることを理解する。
③身のまわりの物質についての観察・実験を通して、固体・液体・気体の性質、物質の状態変化について日常生活と関連づけて理解するとともに、物質に対する興味・関心を高める。

２．授業の進め方（授業形態等）

（1）週２時間　(2)年間総授業数７０時間　(3)授業形態　一斉

３．教科書・副教材

教科書	未来へひろがるサイエンス　啓林館
副教材	進展理科　生物編、化学編　文理　　理科便覧　浜島　　アシスト科学と人間生活　新訂版（化学資料＋問題集）実教出版

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6	【生物分野】 生物の観察と 分類のしかた 植物の観察	・ルーペや実体顕微鏡の使い方／スケッチとレポートの書き方／・光学顕微鏡の使い方 ・身近な植物の分類／果実を作る花のつくり／裸子植物と被子植物／種子を作らない植物／さまざまな植物の分類	26	実験・観察を基本とする。
	7	【化学分野】 身のまわりの物質とその性質　気体の性質	・金属と非金属との区別／プラスチック／金属どうしの区別／密度／メスシリンダー、ガスバーナー、てんびんの使い方／有機物・無機物／気体の製法と性質		
2	9 10	【生物分野】 動物の観察	・身近な動物の分類／セキツイ動物／無セキツイ動物／動物の分類	30	基本的な実験操作の習得
	11 12	【化学分野】 水溶液の性質 物質の姿と状態変化	・物質が水に溶けるようす／水溶液の調べ方／ろ過の仕方／濃度／溶解度と再結晶 ・物質の状態変化／物質の状態変化と体積、質量の変化／物質の状態変化と温度変化／融点・沸点／エタノールと水の混合物の蒸留		
3	1 2	【生物分野】 生物と細胞	・植物の細胞／動物の細胞	14	
	3	【化学分野】 探究活動	白い粉状物質の区別		

５．評価について

①実験実習レポート・提出物　　②定期試験　　③普段の授業態度
レポート・試験・授業中の発表には文章で表現するものを多く取り入れ、言語力の向上に努める。

令和7年度年間授業計画　音楽

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①幅広い活動を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な基礎的技能を身につける。
②音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
③主体的・協働的に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむ態度を養う。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週１.３時間　(2)年間総授業数　４５時間　(3)授業形態　一斉（４０人）

３．教科書・副教材

教科書	中学生の音楽１（教育芸術社）中学生の器楽（教育芸術社）
副教材	MY SONG ７訂版（教育芸術社）音楽のハーモニー１年（正進社）

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	歌唱（斉唱・合唱） 鑑賞（歌曲） 楽典	・発声、ブレス、姿勢など歌唱における基礎的な技能を身につける。 ・物語の進行と曲想の変化との関わりを理解し、歌唱表現の特徴やピアノ伴奏の効果を味わう。 ・音符・休符の長さ、音名・階名、拍子など、楽譜における基礎的な内容について理解する。	12 2 3	
2	9 10 11 12	鑑賞（バロック音楽） 器楽（箏） 鑑賞（箏） 楽典 創作 歌唱（斉唱・合唱）	・ソネットと音楽との関わりを理解し、独奏ヴァイオリンと合奏による表現を味わう。 ・箏の基礎的な奏法を身につけるとともに、様々な奏法による音色の違いについて理解する。 ・楽曲全体の構成を理解し、箏の多彩な表現を味わう。 ・リズムなど、楽譜における基礎的な内容について理解する。 ・リズムフレーズを創作し、手拍子で演奏する。 ・歌詞の内容を生かして表現を工夫するとともに、基礎的な歌唱の技能を向上させる。	2 6 1 1 2 7	
3	1 2 3	楽典 歌唱（斉唱・合唱） 器楽（リコーダー）	・楽譜における諸記号などについて理解する。 ・声部の役割や曲の雰囲気の変化を理解し、クラスメイトと協力しながら表情豊かな表現をめざす。 ・アルトリコーダーの基礎的な奏法を身につける。	1 5 3	合唱コンクール

５．評価について

①出席状況　②授業での取組み　③実技発表、実技テスト
④定期考査　⑤感想文　⑥提出物

令和7年度年間授業計画　美術

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
③楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

２．授業の進め方（授業形態等）

（1）週　1.3時間　(2)年間総授業数　45時間　(3)授業形態　一斉（美術室）

３．教科書・副教材

教科書	開隆堂「美術１ 発見と創造」
副教材	

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	・オリエンテーション ・鉛筆デッサン　片手 ・色彩演習 ・町で見つけたベストデザイン	・美術の授業についてルールや目標の確認をする。 ・鉛筆の種類の違いや特徴について理解する。 ・カッターを使って鉛筆を削る。 ・構図、構成、骨格、形態、陰影、空間等を意識しながら片手をモチーフに鉛筆デッサンする。 ・色の三属性（色相・明度・彩度）について学ぶ。 ・各筆やアクリル絵具の特徴や使い方を理解する。 ・三原色の絵具で色相環を作る。 ・対比表現で立方体を塗る。 ・グラデーションを用いた平面構成をする。 ・町にあふれる様々なデザインに着目し、任意のテーマを設定しランキング形式でまとめる。（宿題）	1 7 9	
2	9 10 11 12	・漢字をモチーフに平面構成 ・切子デザインシート 伝統文様ワーク	・任意の漢字を一文字選び、色彩演習の内容を生かして平面構成する。 ・切子デザインシートの表現の特徴と工夫を理解する。 ・日本の伝統文様の美しさや良さを感じ取り表現する。	15 3	
3	1 2 3	・切子デザインシート ペアコースター制作	・切子デザインシートの表現の特性を活かし、オリジナルの図案を考え赤と青のペアコースターを美しく表現する。	9	

５．評価について

①学んだ知識、技能を活用し作品に表すことができたか。
②課題を踏まえコンセプトを基に発想することができたか。
③主体的に意欲を持って授業に取り組むことができたか。
※以上の点を中心に作品、ワークシート、クラスノートブック、授業態度、出欠を基にして評価する。

令和7年度年間授業計画　保健体育

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①各種の運動の合理的な実践を通して、課題を解決するなどにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高め、生活を明るく健全にする態度を身につける。

②個人生活における健康・安全に関する事項を理解する。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週３時間　(2)年間総授業数　105時間　(3)授業形態　一斉（一部男女別習）

３．教科書・副教材

教科書	大日本図書　中学校保健体育
副教材	大日本図書　中学校保健体育ノート１　　学研　中学体育実技２０２３

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	【体育分野】 体つくり運動 ダンス 陸上競技① 体つくり運動 体つくり運動 水泳	体力を高める運動／体ほぐし運動 集団行動／運動と体や心の働き ソーラン節 短距離走 体力を高める運動／体ほぐし 新体力テスト クロール／背泳ぎ	2 5 7 5 2 6 5	体育祭 体力テスト
		【保健分野】 ①健康な生活と病気の予防		2	
2	9 10 11 12	【体育分野】 水泳 陸上競技② 球技① 球技②	クロール／背泳ぎ ハードル走 バドミントン(卓球) バスケットボール ソフトボール（ティーボール）	6 9 9 8 8	
		【保健分野】 ①健康な生活と病気の予防 ②心身の発達と心の健康		3 4	
3	1 2 3	【体育分野】 陸上競技 球技③ 球技④	長距離走 バレーボール サッカー	8 6 6	球技大会
		【保健分野】 ②心身の発達と心の健康		4	

５．評価について

それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。

（１）知識・技能・・・定期考査、学習カード、技能テスト

（２）思考・判断・表現・・・定期考査、授業への取り組み、学習カード

（３）主体的に学習に取り組む態度・・・出席状況、忘れ物、

授業への取り組み、提出物の状況

令和7年度年間授業計画　技術

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①生活や社会で利用されている材料，加工，及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。
②生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。
③よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週　１時間　(2)年間総授業数　３５　時間　(3)授業形態　一斉（40人）

３．教科書・副教材

教科書	新編　新しい 技術・家庭　技術分野　未来を創るTechnology　（東京書籍）
副教材	マツゴロウ

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	技術分野のガイダンス ４編：情報の技術	・ガイダンス ・１～４編で学んでいく内容の確認 1章 生活や社会を支える情報の技術	2 11	
2	9 10 11 12	４編：情報の技術 １編：材料と加工の技術	2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 2章 材料と加工の技術による問題解決	6 8	
3	1 2 3	１編：材料と加工の技術	1章 生活や社会を支える材料と加工の技術 木材加工実習（マツゴロウ）前半 ・製作準備 ・けがき ・切断	2 6	

５．評価について

・定期考査、実習、実験、レポート、プリント、ノート、発表、平常点等総合的に評価する.

令和7年度年間授業計画　家庭

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

① 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・共同して家庭生活を営む必要があることに気づくこと。
② 衣服の適切な選択や着用、衣服の計画的な活用、日常着の手入れ、製作に関する知識及び技能
を身に付け、これからの生活を展望して、衣生活の課題を解決する力を養い、衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。
③ 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して住生活の課題を解決する力を養い、住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

２．授業の進め方（授業形態等）

（１） 週１時間　　（２）年間総授業数　３５　時間　（３）　授業形態　一斉（４０人）

３．教科書・副教材

教科書	技術・家庭（家庭分野）　（東京書籍）
副教材	家庭科ワークノート（地域教材社）、布・ミシン糸のセット（スタイリッシュ）

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	A　家族・家庭生活 B　衣食住の生活 -　衣生活	オリエンテーション A（１）自分の成長と家族・家庭生活 B（５）生活を豊かにするための布を用いた製作	13	
2	9 10 11 12	B　衣食住の生活 -　衣生活 -　住生活	（４）衣服の選択と手入れ （７）衣生活についての課題と実践 （６）住居の機能と安全な住まい方	14	
3	1 2 3	B　衣食住の生活 -　住生活	（７）住生活についての課題と実践	8	

５．評価について

定期考査、実習、発表、提出物等から総合的に評価する。

令和7年度年間授業計画　英語

対象：中学１年全クラス

１．学年学習到達目標

①教科書などの基本的な英文を聞き手が理解できる正しい発音で音読し、また内容をプレゼンテーションできる。
②スピーチ、スキットなどで初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話して伝えることができる。
③簡単な自己紹介などで、まとまった内容を英語で書くことができる。
④初歩的な（英検４、５級程度）英語を聞き取ることができる。
⑤初歩的な（英検４、５級程度）語句や文を読んで理解できる。

２．授業の進め方（授業形態等）

(1)週４時間 (2)年間総授業数 140時間 (3)授業形態 一斉(週１時間:日本人Team Teaching／週１時間：ALTとのTT)

３．教科書・副教材

教科書	NEW HORIZON English Course 1（東京書籍）
副教材	Basic Grammar in Use（Cambridge） Let's Enjoy BINGO1(浜島書店）英語のたて×よこドリル1(正進社)

４．学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	TT(ALT) Lesson
1	4 5 6 7	Orientation Unit 0 Unit 1 Unit 2 Unit 3 Unit 4 Stage Activity 1	あいさつ、身近な英語 [英語の学習方法・言語活動の基本] Nice to Meet You [Alphabet,音, Classroom English] Hello, Everyone! [be動詞 / 一般動詞 / 疑問文 / 否定文] Our New Teacher [He[She] is / He[She] is not / This[That] is / can] Our School [What ? / Who ? / How ? / When ?] Friends in New Zealand [How many ? / What time? / What+名詞 ? / 命令文] "All about Me" Poster	52	Orientation 英語の語彙・音声 Speech 1「自己紹介」 Skit 1「基礎英語より①」 Interview 1「自己紹介」
2	9 10 11 12	Unit 5 Unit 6 Unit 7 Unit 8 Let’s Read 1 Stage Activity 2	My Brother in Hawaii [三人称単数形] A Rakugo Performer from the U.K. [代名詞 / Whose ?] An Online Tour of the U.K. [現在進行形] Think Globally, Act Locally [want to / try to] Let’s Climb Mt. Fuji	60	Skit 2「基礎英語より②」 Speech 2「人の紹介」 Skit 3「レストラン」 Interview 2「家族紹介」
3	1 2 3	Unit 9 Unit 10 Stage Activity 3 Orientation	Winter Vacation [過去形] This Year’s Memories [be動詞の過去形 / 過去進行形] My Favorite Event This Year 英文多読、一年間の振り返り [英語の学習方法]	28	Speech 3「新年の抱負」 Skit 4「冬休みの思い出」 Interview 3「一年間の思い出」

5．評価について

Ⅰ 知識・技能（定期考査、音読テスト、Shadowing、Presentation、Skit、面接テスト、ライティング課題）

① 語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。
② 正しい語順や文型、語法などの文法事項をふまえて、適切な表現にすることができる。
③ 必要な情報を、正確に聞き取ることができる。
④ ある分量の英文を読んで、必要な情報を正確に読み取ることができる。
⑤ 間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教科書本文の音読ができる。
⑥ 相手に配慮しながら、コミュニケーションを継続することができる。
⑦ 既習の文型や語法、適切な文章形式をふまえて、英文を正確に書くことができる。

Ⅱ 思考力・判断力・表現力（定期考査、Presentation、Speech、Skit、面接テスト、Discussion、Debate、ライティング課題）

⑧ 話された内容の概要・要旨を聞き取ることができる。
⑨ ある分量の英文を読んで、その大意を読み取ることができる。
❿ ある分量の英文を読んで、その大意から次の展開を推測することができる。
⓫ ある分量を読んで、論理展開や順序を読み取ることができる。
⑫ 英語の音声と内容を伝えることを意識して、音読やプレゼンテーションをすることができる。
⑬ 聞き手を説得できるように論理的に自分の意見を述べることができる。
⑭ あるものの描写や詳細を説明することができる。
⑮ 相手が話したいことに対して質問をしたり、答えたりしながら議論を継続することができる。
⑯ 目的や場面に応じて適切な表現を用いて書くことができる。
⓱ 順序や論理展開を意識してまとまった分量の文章を書くことができる。

Ⅲ 主体的な学習に取り組む態度 （授業での取り組み、課題提出、自己評価・自己分析など）

⑱ 英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。
⑲ 文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。
⑳ 自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態度を持つことができる。

※ 中高６年間共通の評価規準のため、❿⓫⓱は中学では見取らない。